

目 次

01

住環境整備の趣旨

02

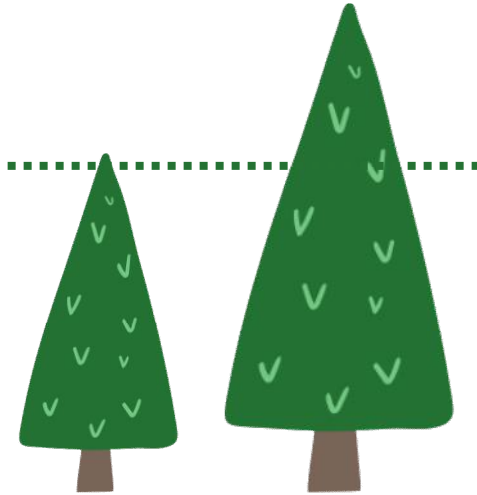
旧長若中学校エリア活用コンセプト

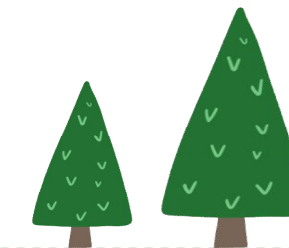
03

定住の効果

04

子育て世帯住環境整備アンケート結果ほか





趣旨

小鹿野町の人口は、ここ5年間で毎年約280人程度減少しており、令和6年度の出生見込数は17人の状況である。

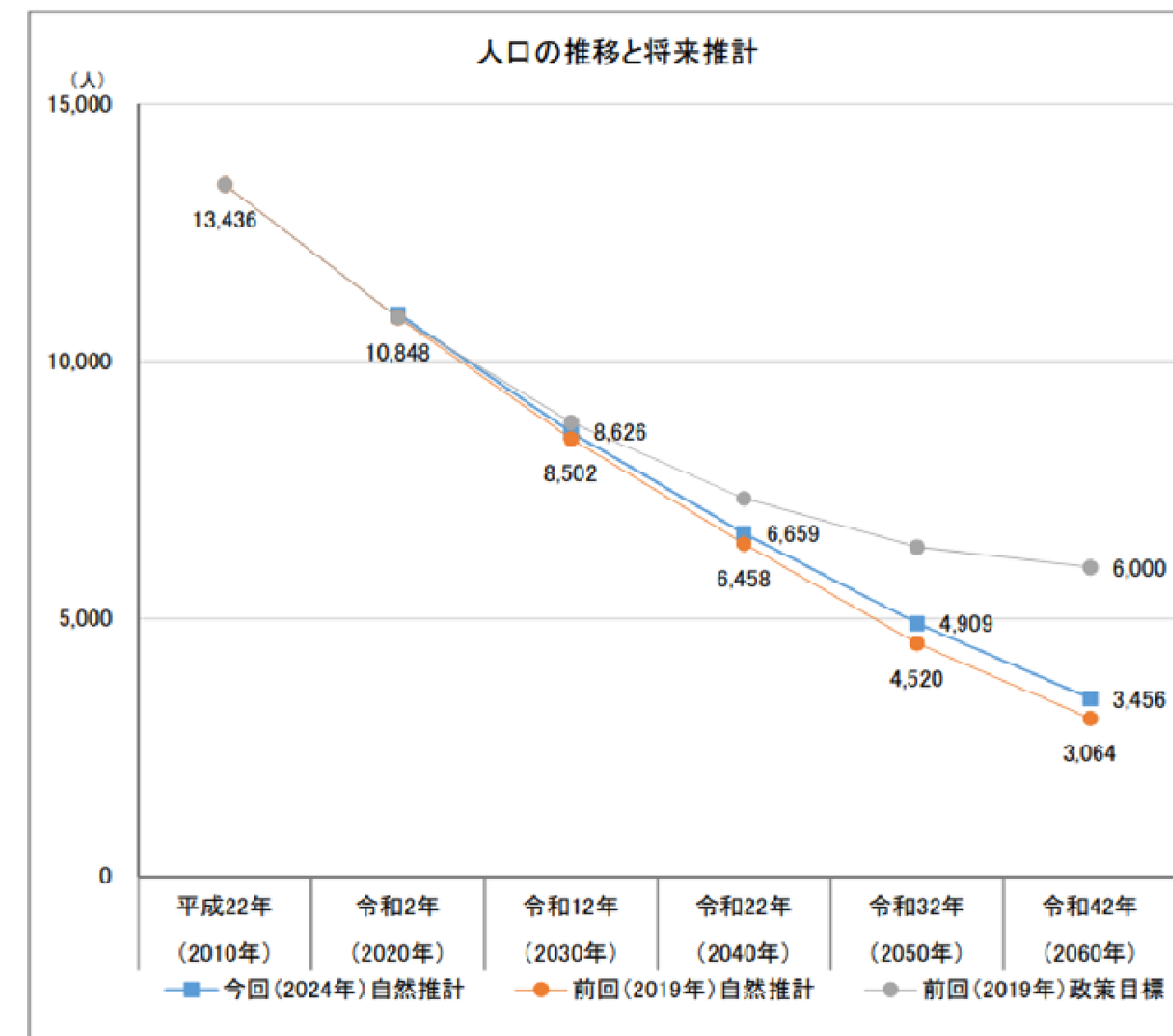
この減少は、5年間で10%強となっており、近隣市町の中で最も高くなっている。

こうした、少子化に歯止めがきかない深刻な人口減少問題を緩和していくため、「若年世帯」の定住促進に焦点を当て、子育て世代が集え、子育てに配慮した安心安全な住環境の整備を計画していく。

【若年世帯向け住環境整備の三つの視点】

● 居住者の視点 ● 住まいの視点 ● 地域の視点

国立社会保障/人口問題研究所が公表した推計によると、今後本町の人口は減少していき、令和42年には、現在の人口の約3分の1の3,456人になると予測されています。



資料：「国勢調査」（総務省）、「地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）

旧長若中学校エリアまちづくりビジョン

コンセプト 集い 創り 繋ぐ 暮らし

拠点施設
旧長若中学校
を核とした
住環境整備

「集い」

◆ 拠点：長若集学校

長若地域や町内だけでなく、町外からも多くの方々が利用することで、世代間交流や地域間交流を促進する。

多くの方が集い、ふれあうことで生きがい創りの場を創出し、若者の移住や定住の促進を図る。

「創り」 ◆ 拠点：長若小学校

地場産業の振興を図るとともに、マッチングによる新たなビジネス創出の場を提供する。

雇用機会を増やすことによって、地域課題解決や地域活性化による、人口流出を抑制する。

「暮らし」

◆ 拠点：旧長若中エリア

雇用機会や交流促進の場の創出に併せて、住環境整備を行い定住促進を図る。

「繋ぐ」

◆ 拠点：札所・自然環境

地域住民の思い入れのある地域で、世代間を超えた交流と地域内外との交流人口とのつながりを深める。

地域の文化、伝統を後世に繋げ地域コミュニティの活性化を図る。



「地域経済への影響」

定住人口が増えると、地域内での消費が増加し、地元の商店やサービス業が活性化します。これにより、地域経済が潤い、雇用機会が増えることが期待され、町の税収も増加し、公共サービスの充実が図られます。

「社会的なつながりの強化」

定住人口が増えることで、地域内での交流が活発になり、社会的なつながりが強化されます。これにより、地域コミュニティが形成され、住民同士の助け合いや協力が促進されます。特に、子育て世代や高齢者にとっては、地域のサポートが得られることで安心感が増します。

「経済効果への期待」

定住人口1人当たりの年間消費額: 130万円

●外国人旅行者8人分・国内旅行者（宿泊）23人分・国内旅行者（日帰り）75人分（※観光交流人口増大の経済効果2019年）

【グラウンド有り無しによる経済効果比較】

定住の効果【グラウンド有り無しによる経済効果比較】

【定住人口1人当たりの年間消費額 130万円】

(※観光交流人口増大の経済効果2019年)

【宿泊客1人あたりの消費額 1.5万円】

(※2023年旅行・観光消費動向調査)

【4人世帯当たり住民税 40万円】

(平均所得中央値795万円※令和5年国民生活基礎調査)

● 長若グラウンド年間利用者

約 3,000人

年間1,500人（利用者の1／2）が、
町内に宿泊してグラウンドを利用した場合
22,500,000円の経済効果が期待できます。

● 長若分譲地10区画

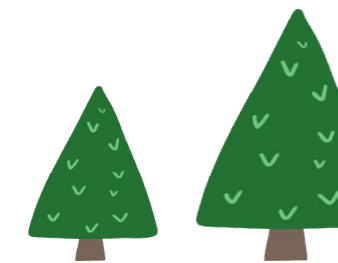
定住人口約35人

定住者18人（1／2の区画）が、
転出抑制や転入により定住した場合
23,400,000円の経済効果が期待できます。

● 税込住民税1世帯当たり

約40万円

5世帯（1／2の区画）が、
転出抑制や転入により定住した場合
2,000,000円の税金が見込まれます。



対象数 : 就学前、小学生を持つ世帯 368世帯
 期間 : 令和5年9月8日～令和6年1月19日
 回答件数 : 131件 35.6%

○住み替えたい。又は住み替える予定がある。

39件/131件 29.8%

○住み替えのタイミング子どもの成長に合わせて

17件/39件

○町有分譲地を購入したい 6件/39件

○町有賃貸物件を利用したい 5件/39件

○検討材料にする 17件/39件

○購入する場合の土地面積 平均61坪

○購入する場合の土地単価 平均5.6万円

参考：小鹿野町まちづくりアンケート調査結果(抜粋)

■調査時期 令和5年6月～8月

■調査票回収数 890件

■回答率 44.5%

【結婚・子育て環境に関する重点施策】

『結婚や子育て環境の充実』のため、今後、町で最も力を入れていくべき取組は？

- 1 子育て家庭への経済的支援の充実 38.5%
- 2 結婚相談や婚活事業など出会いの場の支援体制の充実 22.4%
- 3 子育て世帯向けの住宅整備 21.1%
- 4 出産から子育てまでの一貫した相談・支援体制の充実 21.0%
- 5 保育所・子育て支援センター・学童保育など保育サービスの充実 20.3%
- 6 子どもの通学に関わる支援 15.7%
- 7 公園や室内施設など子どもの遊び場所の整備 13.8%
- 8 若い世代への結婚に関する意識啓発講習会などの開催 12.6%
- 9 気軽に自主学習できる場所の確保など学習環境の整備 9.3%
- 10 その他 3% 11 無回答 5.4%

【定住・転入促進に関する重点施策】

『小鹿野町への定住・転入（U・Iターン）の促進』のため、今後、町で最も力を入れていくべき取組は？

- 1 地元企業とのマッチングなど就業支援体制の強化 41.9%
- 2 起業や継業などによる仕事場づくりの支援 32.2%
- 3 地元企業情報の提供など新卒者への就業支援 26.0%
- 4 住環境の整備・住宅取得に対する支援の充実 25.1%
- 5 町の情報発信の強化（魅力的な生活環境や支援制度等） 22.7%
- 6 地域づくりを支援する外部からの人材誘致 14.8%
- 7 U・Iターン推進イベントの開催 8.4%
- 8 その他 3.1% 9 無回答 5.8%